

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第49号 2016

目 次

原 著

搾出法を用いたタナゴ類7種の人工繁殖

----- 北川哲郎 1

タンパク質NMR法を用いたライムギ種子Family GH19キチナーゼの基質結合部位に関する研究

-----岡崎蓉子・新家粧子・大沼貴之・深溝 慶 27

調 査

近畿大学奈良キャンパス周辺における淡水産貝類相

-----瀬尾友樹・Jean Tanangonan 37

資 料

近畿大学奈良キャンパスに出現したニホンザル

-----藤井太基・澤島拓夫 49

近畿大学地域環境モニタリングシステム 気象観測データ 2015年1月～12月

----- Jean Tanangonan・西野済・宮崎伸夫・奥村博司 53

春日山常緑広葉樹林内におけるオオチャイロハナムグリの記録

-----瀬口翔太・澤島拓夫 61

A Preliminary Report on Diversity of Products in Organic Farmers' Markets in Surin,
Northeast Thailand

-----Tadasu TSURUTA and Suriya CHANACHAI 67

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINKI UNIVERSITY

Volume 49, 2016

CONTENTS

Original

Artificial breeding of seven bitterlings, Acheilognathinae by the Schale's method

Tetsuro Kitagawa----- 1

NMR study on the substrate-binding site of a family GH19 chitinase from rye seeds

Yoko OKAZAKI, Shoko SHINYA, Takayuki OHNUMA, and Tamo FUKAMIZO---- 27

Survey

Freshwater mollusks found in Nara Campus, Kinki University

Tomoki SEO • Jean TANANGONAN -----37

Research Data

The first record of the Japanese monkey, *Macaca fuscata*, in the Nara Campus of Kinki University

Taiki FUJII, Takuo SAWAHATA----- 49

Nara Campus Meteorological Database from January to December 2015

Jean TANANGONAN, Wataru NISHINO, Nobuo MIYAZAKI, Hiroshi OKUMURA--- 53

***Osmoderma opicum* found in the warm-temperate evergreen forest on Mt. Kasugayama, Nara, Japan**

Shota SEGUCHI, Takuo SAWAHATA----- 61

A Preliminary Report on Diversity of Products in Organic Farmers' Markets in Surin, Northeast Thailand

Tadasu TSURUTA and Suriya CHANACHAI----- 67

近畿大学農学部紀要投稿規程

1. 報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後3年以内）、学部学生（卒業後3年以内）とする。ただし、共著者については、本学部の、技術員、研修員、研究員他を含むが、部外*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については、事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生、学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
2. 報文は、投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
3. 原著は、本規程ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
4. 報文は、原則 USB メモリーあるいは CD-ROM 入稿とする。
5. 報文は、各学科の紀要委員を経て委員長に送付し、紀要委員長が受け取った日を受理の日とする。
6. 原稿は、すべて編集会議において掲載の可否を審議する。
7. 編集会議において、そのまま掲載できないと判断された場合は、その理由をふして著者に訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。編集会議は紀要委員長が査読者の意見を聞き、紀要委員会にかける。
8. 紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を本学部に所属する2名以上の教員に依頼する。投稿者に査読者を推薦して決めてもらう。
9. 報文の掲載は、原則として受理の日順とする。ただし、内容による区分等を必要とする場合等を考慮することがある。その際には、編集会議で掲載順を決定する。
10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については近畿大学学術情報リポジトリにて公開されることを承諾したうえで投稿しなければならない。リポジトリの記載事項は、各委員が投稿者に見本を渡す。

*附属農場、水産研究所は、部内に準じるものとする。

附記 平成17年7月改正
平成25年6月改正
平成26年6月改正
平成27年6月改正

紀要投稿に関する諸注意

1. 投稿の締切日は、9月30日に定める。ただし、日曜日の場合は、翌日10月1日とする。
2. 投稿するときは、所定様式の投稿カードに必要事項を記入し、USBメモリーあるいはCD-ROMとその内容を打ち出した原稿とともに学科の紀要委員に提出する。
3. 原稿は、図、表、写真、英文 synopsis を含め、すべて1部ずつ提出する。
4. 英文原稿には、和文の表題、和文の姓名、200字程度の和文要旨、およびキーワード(5語以内)を添える。また、和文原稿には、英文表題、ローマ字表記の姓名、200語程度の synopsis およびキーワード(5語以内)を添える。
5. 英文原稿の場合は、あらかじめ投稿前にネイティブの英文校閲を済ませたものでなければならない。和文原稿の synopsis は、投稿前に同様に英文校閲を済ませたものでなければならない。未校閲の投稿は受け付けない。
6. 校正は、最終校を除き著者がおこなう。原則として、文章または図表の変更や追加をしてはならない。
7. 別途、別刷りを希望する場合、当該請求者の支払いとする。(学部予算は使用しない)

附記 平成25年6月18日改正
平成26年6月12日改正
平成27年6月8日改正

電子媒体に関する諸注意

1. 電子媒体は、USBメモリーあるいはCD-ROMを指す。
2. Microsoft Word Version2007以降のソフトウェアを使用する。
3. 本文および表字体(フォント)は、明朝体(MS明朝体、細明朝体)とする。ポイントは、表題 12 文章 10.5 とする。英文の場合は、Times New Roman とする。本文にイタリック体などの他の字体を用いる場合、Hard copy(書面)論文に下線を引き字体を指定する。全て過去の紀要論文の体裁に従うことにする。
4. 図および写真を用いる場合、Microsoft Power Point または Adobe Photoshop を使用する。
5. 電子媒体と Hard copy の表記が一致していることを確認したうえで、提出すること。
6. 電子媒体がそのまま紀要として学術情報リポジトリに掲載される。

附記 平成25年6月18日改正
平成26年6月12日改正
平成27年6月8日改正

近畿大学農学部紀要委員会

編集委員会

深溝 慶
林 孝洋
多田 稔
田中 裕美
伊藤 龍生
八丁 信正

近畿大学農学部紀要 第49号

平成28年3月31日 発行

発行者 重岡 成

編集人 深溝 慶

発行所 近畿大学農学部
奈良市中町3327-204